

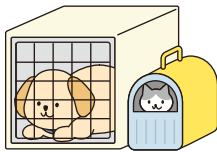
ペットといっしょに避難できます

避難所における動物飼育

それぞれの避難所のルールを守る

避難所は、動物が好きな人、苦手な人、アレルギーをもった人など、様々な人との共同生活を送る場所になりますので、避難所を運営するなかで動物が受け入れられやすい環境づくりが大切になってきます。

避難所では人の避難スペースでの飼育は基本的にできません!



ペットの世話は飼い主の責任

避難所におけるペットの世話は飼い主が責任をもって行わなければなりません。
排泄物の始末をはじめ、飼育環境を清潔に保つようにしましょう。
日常と異なる避難所での生活は、ペットもストレスや不安を感じます。ペットの体調に気を配り、不安を取り除いてあげるよう心がけましょう。飼い主同士の話し合いや協力も大切です。

同行避難の目的

ペットの同行避難とは「ペットを救うための行動」という目的もありますが、本来の目的は、飼い主がペットとともにためらうことなく避難できるようにすることであり、飼い主を含む全ての住民の安全を確保することです。
過去に、一旦避難した飼い主が、ペットを避難させるために自宅に戻り災害に巻き込まれたケースや、同行避難できずにやむを得ず放たれたペットが繁殖・増加したケースなど、こうした問題を軽減するためにも、飼い主自身でペットとの同行避難に備えておくことも大切です。
また、どのような状況でも必ず同行避難しなければいけないわけではありません。自宅が安全であり、定期的にペットの世話をするために戻れる状況であれば避難所に連れて行かないことも選択肢の一つです。

ペットのための準備チェックリスト

災害への備えができているか確認しましょう

- ☐ 地域や飼い主仲間と防災について話し合っていますか
- ☐ ペットを連れた避難訓練をしていますか
- ☐ 一時預かり先は確保していますか
- ☐ 鑑札や迷子札を付けていますか
- ☐ 予防接種など健康管理はできていますか
- ☐ むだ吠えをさせないなど、しつけはできていますか



持ち出す準備ができているか確認しましょう

- ☐ ペットフード・水(最低でも5日以上)
- ☐ 療法食・薬(特別な食餌やお薬が必要な場合は余裕をもって準備しましょう)
- ☐ ペットシーツ・トイレ用品(排泄物の処理が不適切だとトラブルの原因になります)
- ☐ 予備のリード(急な動きを制御できるよう伸びないもの)
- ☐ ケージ・キャリーバッグ ☐ ブラシ
- ☐ ガムテープ ☐ ウェットタオル
- ☐ マジック ☐ おもちゃ
- ☐ ビニール袋 ☐ 飼い主やペットの情報
- ☐ 食器 ☐ ペットの写真
- ☐ タオル ☐ その他ペットに必要なもの



ペットの日常管理に加え、ケージの故障など様々な状況に対処する必要があります。人の備蓄品と共通するものも多いので、持ち出せる量をしっかりと準備しましょう。

飼い主さんとペットの情報欄

●ペットの情報

顔のアップの写真(できれば飼い主と一緒に写っているもの)		全身の写真(できれば模様や尻尾の形など特徴がわかるもの)	
名 前		性 別	オス・メス / 不妊去勢 済・未
種 類		体 重	
毛 色		生 年 月 日	
マイクロチップ	未・済(番号)	鑑札番号(犬)	
ワクチン接種	未・済(種類) 最近の接種日 年 月 日		
既 往 症	(持病、飲んでいる薬、アレルギーなど)		
性 格 ・ 特 徴			

●飼い主の情報

氏 名		家族の氏名	
電 話	自宅	携帯	
メー ル			
住 所			
非常時の連絡先	電話		
かかりつけの動物病院	電話		